

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『仕事の教科書』 北野唯我著

日本図書センター 156頁 1500円＋税

本書は4つの章からなっています。ひとつひとつが魅力的ですが、第1章「仕事が遅い人」と呼ばれないためのスピードアップ術から紹介いたします。

法則

1. タイミング：3つのすぐ

- ・すぐやる：依頼された日のうちに0.01%でもその作業に取り掛かる
 - ・すぐ出す：期限より早くに提出する
 - ・すぐ答える：その場で暫定回答し、期限を区切って正式回答する
- 以上3つのすぐは気持ちの問題だからすぐできる。

2. 目標：目標⇒計画⇒行動

- ×：「まずは、とにかく知識を身に着けよう。知識があれば、仕事を速くこなせるようになるはずだから」
- ：「まずは明確な目標があって、その目標に向かって努力するための計画があり、その計画を通じて、知識を身につけるという行動をする」

3. 目標：自分で立てるクセ

自分で目標を立てることによって、目標⇒計画⇒実行の順序が身につく

4. 分解：細かく分解するクセ

何事も分けて考えれば早くなる。仕事が遅い人はほぼ100%分解して考えられない。

たとえば、あなたが野球をしているとする。今の最高速度が130キロで、これを140キロにしたい。ここで要素を分解する。「球速＝筋力×筋力の出力率×投球フォームの効率性」と分解したとする。次に最大の阻害要因、球速を上げるためのボトルネックがどれなのかを考える。筋力に問題があるとする、

どの筋力に問題があるのかともう一度分解する。肩か、背中か、下半身か。下半身であるとする、さらにどの筋肉なのかまで分解する。

5. 計測：各タスクに掛けている時間を計測分解したら、要素ごとに客観的に記録する。数字や変化をメモする。記憶を記録に落とし込むのだ。たとえば、メール1本返信するとき、仕事の遅い人は99%の確率で「なににどれくらい時間がかかっているのか」を把握していない。メール返信のタスクは、たとえば次のようになる、①アドレスの入力、②文面のベース作成、③推敲・編集、④チェック依頼、⑤最終チェック、⑥送信。それぞれ時間を計測し、記録する。

6. セット：目標・分解・計測の法則をセットで使っている

7. 経営と実行分離：自分の中で「経営者」と「実行者」を分けている

経営者は「やるべきことを整理する人」、実行者は「整理されたことを実行する人」だ。経営者は、夜やるべきことを列挙し、それぞれにタグ付けする。タグ付けとは、「いつやるのか」「どのように取り組むのか」の目安をざっくりと示すことだ。

たとえば、⇒の右側がタグだ。

・Wi-Fiの充電をしておく⇒前日の夜、寝る前にやる

以下章のタイトルです。

第2章：「わかりづらい」から脱却するための文章化術

第3章：相手から「Yes」を引き出すための提案術

第4章：健康と成長を両立させるためのセルフコントロール術

本書は、実務に役立つ本だと思います。お試しください。

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

ウクライナ

ウクライナは世界に日本にどう影響するのでしょうか？

『日経トップリーダー』4月号に「ウクライナ侵攻、世界経済に波及」という記事がありましたので、簡単にご紹介します。

戦争の長期化は、ロシアのGDPの個人消費を冷え込ませ、消費財・サービス産業を直撃する。さらに西側の激しい経済制裁は、エネルギーと農業を大きく揺さぶり、経済を縮小させる。「今年上期のロシアのGDPは前年同期比で22.5減」という報告がある。

経済制裁は、ロシアの大手銀行を国際的な決済網から締め出すとともに、ロシアの中央銀行の持つ外貨準備を凍結する。

これによって、ロシアは貿易決済に使うドルの調達が難しくなり、対外借り入れ返済の危機に瀕している。通貨ルーブルは、戦争前に1ドル75ルーブルだったのが、3月初旬には140ルーブルと暴落している。

原油や穀物価格がすでに急騰しているが、継続する可能性がある。原油は2月1バレル115ドルだが、今年180ドル台に達する恐れもあるという。先進国のGDP成長率は1%割れ、景気急落の恐れもある。

国際通貨基金の『ウクライナでの戦争が世界地域にどう影響しているか』という記事でも見てみます。ここでも、世界経済全体が成長減速とインフレ加速の影響を受けると記しています。そして、影響の経路は次の3つであるとしています。

- ・ 一次産品の価格上昇がインフレを激化
- ・ 周辺諸国を中心に経済混乱、難民急増
- ・ 金融環境タイト化、場合によっては新興市場国からの資本流出を誘発

ウクライナ対策

コロナにウクライナが加わって景気の悪化が懸念されます。さらに、消費税関係ではインボイスの登録事業者制度もすでに始まっています。

今後の経営について対策を打ちたいところですが、その際には政府の支援策が使えるかどうか検討していただきたいと思います。ここでは2種類紹介いたしますが、探せばもっとあるかと思えます。詳しくはそれぞれの表題で検索してみてください。

★経済産業省「ウクライナ情勢の変化に伴い中小企業・小規模事業者対策を行います」

1. 特別相談窓口の設置

2. セーフティネット貸付の運用緩和

対象者：社会的、経済的環境の変化等外的要因により、一時的に売上の減少等業況悪化をきたしているが、中長期的にはその業況が回復し発展することが見込まれる中小企業・小規模事業者

対象要件：最近3ヶ月の売上高が前年同期または前々年同期に比べて5%減少等

対象資金：設備資金及び運転資金

貸付限度額：(国民生活事業) 4,800万円

貸付期間：設備資金15年以内、運転資金8年以内

★IT導入補助金2022

会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトの経費の一部を補助

・補助対象経費

ソフトウェア購入費、クラウド利用料、導入関連費、デジタル化基盤導入枠(デジタル化基盤導入類型)は左記に加えハードウェア購入費等が対象